

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	入江 一雄
主な担当科目	ピアノアンサンブルⅠ②,ピアノアンサンブルⅠ③,ピアノアンサンブルⅠ④,ピアノアンサンブルⅡ①,ピアノアンサンブルⅡ②,ピアノ教養特論Ⅰ,ピアノ教養特論Ⅱ,基礎ゼミ,室内楽特別演習①,室内楽特別演習②,修士室内楽特別演習①,修士室内楽特別演習②,ピアノ
2025年の教育目標・授業に臨む姿勢	芸術や音楽を「教える」とはどういうことなのか、自分の中でのテーマを常に抱えながら過ごしている。以前よりは自分なり見出すことができ、自分が感じることを学生に伝えている。「普遍的に守らなければいけないこと・それら以外は自由なものである」という信念は変えず、個々の学生への思考力を高めるよう意識している。
2025年の教育に関する自己評価	私の指導スタンスは受け入れられないと思っていたが、学生は柔軟なものでうまく咀嚼してくれ、個々の学生が自身で考え試行錯誤したり、疑問に感じたことを私の指摘前に投げかけてくることはほぼ当たり前のことになった。今後も長期的な展望が必要となるが、学生の成長を感じるシーンも多く嬉しく時間が増えた。
2025年のFD活動に関する自己評価	鍵盤・基礎ゼミ・ソルフェージュのFDに参加した。音楽や社会が多くのことと有機的に結びついていることを感じた。いろんな先生方の意見を聞ける貴重な機会でもあった。
授業改善のために取り入れた研修内容	基礎ゼミの合同授業において、スマホ出席を導入した。問題点はあるものの、出欠入力の手作業負担が大幅に軽減された。

2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3239 教員名:入江 一雄

1)アンケート結果に対する所見

良い結果を得られて、嬉しさと安堵を感じている。

2)要望への対応・改善方策

複数人での授業では各々の進度が異なるため、その違いを踏まえながら指導を進める必要がある。そこで、他人と比較することなく各自のペースを保ちつつ、その中で最大限ステップアップできるよう、個々に合ったアドバイスを心がけた。その結果として、学生から満足を得られたとの回答につながったのではないだろうか。

3)今後の課題

実技レッスンや前述の授業では、参加人数によって進め方や気配りの仕方が変わってくる。今後もそれぞれに合ったやり方で、満足度の高い内容を提示できるようにしたい。

以 上